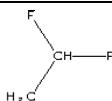


項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

1.0.1 物質情報

CAS番号	75-37-6	75-37-6
物質名(日本語名)	1, 1-ジフルオロエタン	1, 1-ジフルオロエタン
物質名(英名)	1,1-difluoroethane	1,1-difluoroethane
別名等	DYMEL 152a; FORMACEL Z2; Fluorocarbon 152a; R152a	DYMEL 152a; FORMACEL Z2; Fluorocarbon 152a; R152a
国内適用法令の番号	2-86	2-86
国内適用法令物質名	ジフルオロエタン	ジフルオロエタン
OECD/HPV名称	Ethane, 1,1-difluoro-	Ethane, 1,1-difluoro-
分子式	C2H4F2	
構造式		
備考	NITE CHRIPより引用	

1.0.2 安全性情報収集計画書/報告書作成者に関する情報

機関名	Du Pont de Nemours (Nederland) B.V.	Du Pont de Nemours (Nederland) B.V.
代表者名		
所在地及び連絡先		
担当者氏名		
担当者連絡先(住所)		
担当者連絡先(電話番号)		
担当者連絡先(メールアドレス)		
報告書作成日		
備考		

1.0.3 カテゴリー評価

1.1 一般的な物質情報

物質のタイプ	有機化合物	organic
物質の色・におい・形状等の情報		
物理的状态(20°C、1013hPa)	気体	gaseous
純度(重量/重量%)	99.9 % (w/w) より大	99.9 % (w/w) >
出典		
備考		

1.2 不純物

1.3 添加物

1.4 別名

物質名	R152a	R152a
出典		
備考		

物質名	DYMEL 152a	DYMEL 152a
出典		
備考		

物質名	FORMACEL Z2	FORMACEL Z2
出典		
備考		

物質名	Fluorocarbon 152a	Fluorocarbon 152a
出典		
備考		

1.5 製造・輸入量

1.6 用途情報

1.7 環境および人への暴露情報

1.8 追加情報

2.1 融点

2.2 沸点

2.3 密度(比重)

2.4 蒸気圧

2.5 分配係数(log Kow)

2.6.1 水溶解性(解離定数を含む)

2.6.2 表面張力

2.7 引火点(液体)

2.8 自己燃焼性(固体/気体)

2.9 引火性

2.10 爆発性

2.11 酸化性

2.12 酸化還元ポテンシャル

2.13 その他の物理化学的性状に関する情報

3.1.1 光分解

3.1.2 水中安定性(加水分解性)

3.1.3 土壌中安定性

3.2. モニタリングデータ(環境)

3.3.1 環境区分間の移動

3.3.2 分配

3.4 好気性生分解性

3.5. BOD-5、CODまたはBOD-5/COD比

3.6 生物濃縮性

項目名	和訳結果	原文
-----	------	----

4.1 魚への急性毒性

4.2 水生無脊椎動物への急性毒性(例えばミジンコ)

4.3 水生植物への毒性(例えば藻類)

4.4 微生物への毒性(例えばバクテリア)

4.5.A 魚への慢性毒性

4.5.B 水生無脊椎動物への慢性毒性

4.6.A 陸生植物への毒性

4.6.B 土壌生物への毒性

4.6.C 他の非哺乳類陸生種(鳥類を含む)への毒性

4.6.1 底生生物への毒性

4.7 生物学的影響モニタリング(食物連鎖による蓄積を含む)

4.8 生体内物質変換と動態

4.9 追加情報

項目名	和訳結果	原文
5.1 トキシコキネティクス、代謝、分布		
5.2.A 急性経口毒性		
5.2.B 急性吸入毒性		
5.2.C 急性経皮毒性		
5.2.D 急性毒性(その他の投与経路)		
5.3.A 皮膚刺激/腐食		
5.3.B 眼刺激/腐食		
5.4 皮膚感作		
5.5 反復投与毒性		
5.6.A 遺伝子突然変異		
5.6.B 染色体異常		
5.7 in vivo 遺伝毒性		
5.8 発がん性		
5.9.A 受胎能		
5.9.B 発生毒性		
5.10 その他関連情報		
5.11 ヒト暴露の経験		

6 参考文献

文献番号	詳細
------	----